

第92回千葉県中央メーデーへのメッセージ

第92回千葉県中央メーデーおめでとうございます。

いま、コロナ禍で仕事を失い、営業が困難に陥った方たちへの相談活動を、メーデー実行委員会ははじめ多くの皆さんが、街頭や電話で行っていること、さらに全国一律で最低賃金時給1500円以上の実現をはじめ、安心して働き、暮らせる社会をと奮闘されていることに心から敬意を表するとともに、ともに力を合わせて力を尽くす決意を込め、連帯のご挨拶をいたします。

日本共産党千葉県委員会は、新型コロナ感染拡大防止のために菅政権とともに、千葉県に対しても独自の責任でPCR検査の拡大、自粛と休業補償はセットで行うこと、医療機関へ損失補填を行うことを申し入れてきました。菅首相は「方向性はほぼ一緒、ただ量が違う」と言わざるを得なくなっており、あとは世論の力で量と速度を引き上げることが求められています。また、市民団体のアンケートで明らかになった「生理の貧困」を改善するために、「まずは学校に、無料で生理用品を」と共同してたたかった知事選挙の公約に掲げ、選挙後には千葉県に実現を要請しました。その後、県内で実施する自治体が生まれています。

引き続き、コロナ禍から国民の命と暮らしを守るため、全力を尽くす決意です。

菅自公政権は、感染拡大が急増するなかで、「高齢者医療費2倍化法案」「病床削減推進法案」などの今国会での強行や、中小企業を淘汰する動き、非正規雇用やフリーランスを増やすなど、「新自由主義」路線を強行し、さらに、憲法改悪を狙う動きを強めています。

今回のメーデーで掲げている、○一刻も早いコロナ終息と生活保障、○実現しよう8時間働いたら暮らせる社会、○ジェンダー平等の社会実現、○憲法をいかに平和社会の実現に力を尽くすこと——は緊急の課題です。来るべき総選挙で市民と野党の共闘で、政権交代、野党連合政権を実現することは、これらの課題を実現する一番確かな力になるのではないのでしょうか。

みなさんと力を合わせ、働く者の団結で野党連合政権を実現する決意を申し上げます。連帯のご挨拶とします。

共に頑張りましょう。

2021年5月1日

日本共産党千葉県委員会
委員長 小倉忠平
前衆院議員 さいとう和子